

# 伊賀市の決算状況を報告します

## 《令和2年度決算》

9月に行われた第5回伊賀市議会で、令和2年度の一般会計・特別会計・企業会計の決算が認定されました。今回はその概要をお知らせします。

※端数処理の関係で、決算書の数値と一致しない場合があります。

### 【問い合わせ】

財政課

☎ 22・96008 FAX 24・2440

✉ zaisei@city.iga.lg.jp



### 決算の概要

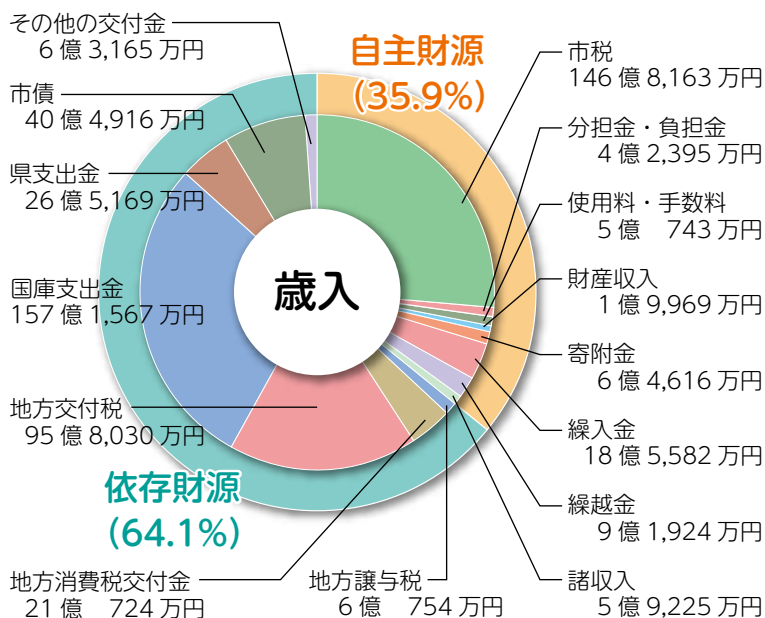
令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策への対応により、過去最大の決算額となりました。コロナ禍の影響で事業が当初の予定通りには実施できない状況でしたが、市民の皆さんが安全・安心に生活でき、元気で活力溢れるまちづくりを進めていくために、市街地エリアのにぎわいづくりに努めるとともに、周辺地域では、地域の活力を維持・向上するための事業を実施しました。

### 歳入の概要

前年度と比較すると、新型コロナウイルス感染症の影響による市税収入の減収や、地方交付税の普通交付税が合併算定替の終了に伴い減収したものの、国の特別定額給付金給付事業費補助金や、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、ふるさと応援寄附金が増えたため、総額で増収となっております。

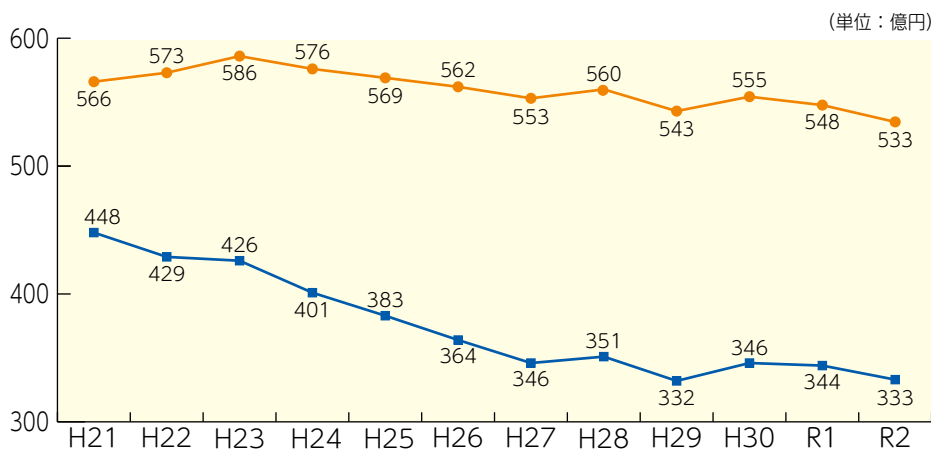
## ■ 一般会計

歳入：551億6,942万円



市債残高：533億円

市債は、いわゆる市の借金です。  
市民1人あたり約37万円です。

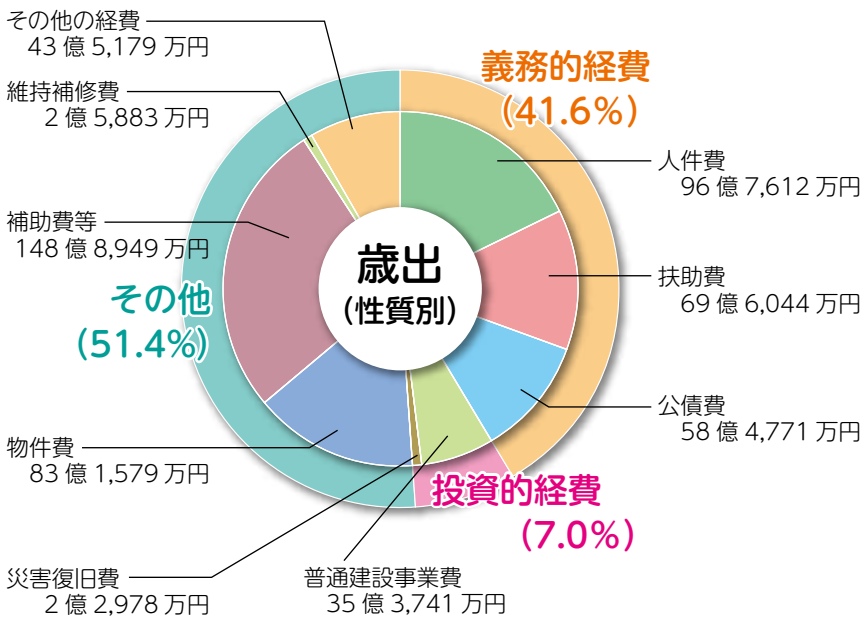


## 歳出の概要

新型コロナウイルス感染症の影響から市民の皆さんや事業者の皆さんを守るため、関連事業をパッケージ化した「伊賀市新型コロナウイルス感染症対策支援パッケージ事業」を推進し、生活支援や事業者支援、感染症拡大防止対策、新しい生活様式への対応などに取り組みました。



歳出：540億6,736万円



感染拡大防止を啓発する取り組み

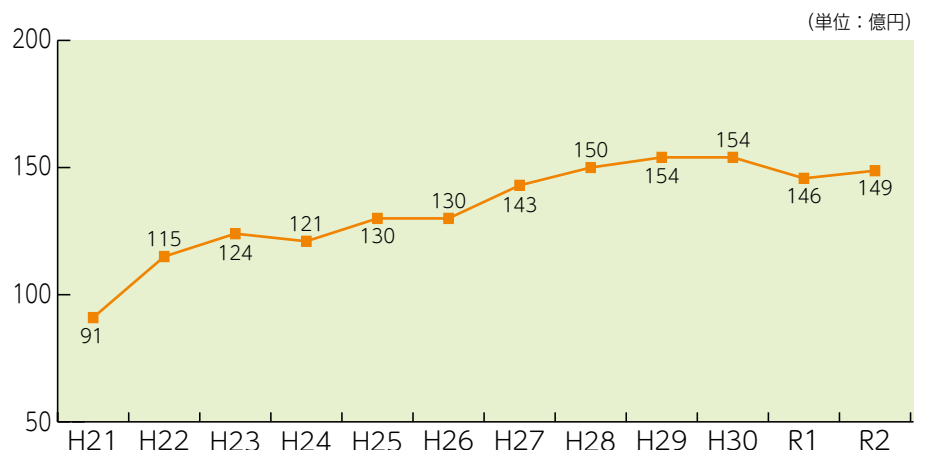
- ①銀座通りの横断幕
- ②コミュニティバス「にんまる」のバスマスク
- ③緊急事態宣言期間に赤くライトアップされた伊賀上野城

## 今後の課題

本市は、他の自治体と比較して人件費、物件費の割合が大きくなっていることが課題です。それらを改善するためには、事業の見直しによる効率性の向上が必要不可欠です。今後は、事業の見直しを行うことで人件費や物件費などの経費削減を行い、持続可能な財政基盤の確立に努めます。

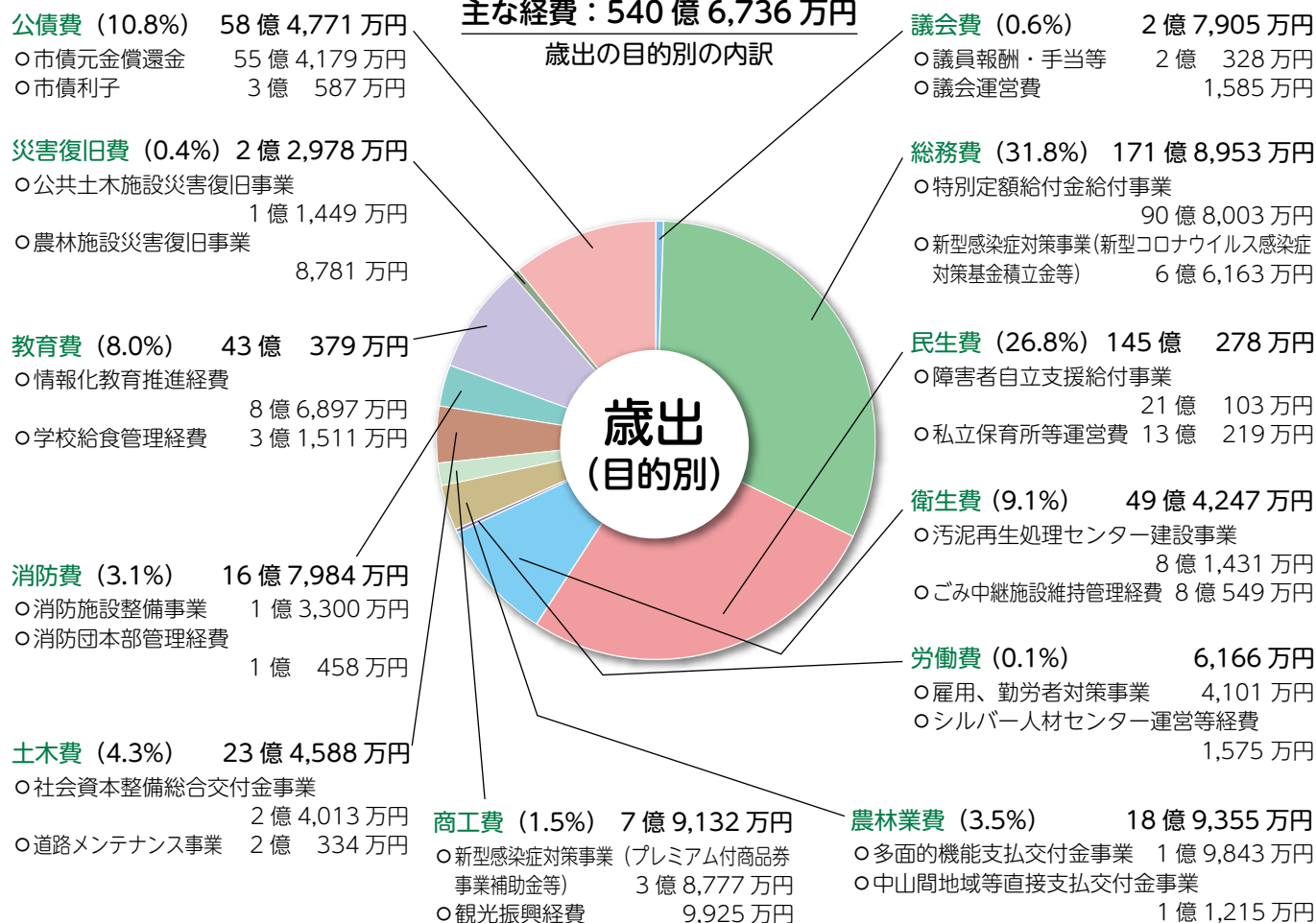
## 基金残高：149億円

基金は、いわゆる市の貯金です。  
 市民1人あたり約17万円です。



## 主な経費：540億6,736万円

歳出の目的別の内訳



## 市有財産の状況

区分	土地	建物	主な施設
行政財産	公用財産	101,800㎡	庁舎、消防施設など
	公共用財産	3,802,095㎡	学校、図書館、公営住宅、公園など
普通財産	2,843,792㎡	30,415㎡	上記以外（山林など）
合計	6,747,687㎡	528,544㎡	

## 特別会計の決算

市には、国民健康保険事業など6つの特別会計と2つの財産区会計があります。

特別会計全体の基金残高は約14億円で前年度と比べると約1億円の増、市債残高は約800万円で前年度と比べると約600万円の減となります。

会計名	歳入額	歳出額	差引額	基金	市債	
特別会計	国民健康保険事業	89億3,267万円	90億3,046万円	▲9,779万円	7,319万円	375万円
	住宅新築資金等貸付	1,634万円	6,557万円	▲4,923万円	11万円	415万円
	駐車場事業	3,189万円	3,189万円	0万円	—	—
	介護保険事業	112億1,242万円	107億5,595万円	4億5,647万円	8億9,234万円	—
	サービスエリア	822万円	772万円	50万円	6,386万円	—
	後期高齢者医療	12億7,516万円	12億6,124万円	1,392万円	—	—
財産区	島ヶ原財産区	3,085万円	2,883万円	202万円	2億5,857万円	—
	大山田財産区	2,323万円	2,180万円	143万円	1億1,262万円	—
合計	215億3,078万円	212億346万円	3億2,732万円	14億69万円	790万円	

## ■財政の早期健全化・再生に関する指標

(財政健全化法に基づく指標)

健全化判断比率とは、地方公共団体の赤字の大きさ(実質赤字比率、連結実質赤字比率)や借金返済額の大きさ(実質公債費比率)、将来に負担が見込まれる実質的な負債の大きさ(将来負担比率)を指標化したものです。

実質公債費比率・将来負担比率については、市債残高が減ったことなどにより、昨年度の数値から改善しています。

すべての指標において国が定める早期健全化基準・財政再生基準を下回っており、健全な財政状況を維持しています。今後、この基準を超えると、財政健全化に向けた対策が必要となります。



(単位：%)

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	資金不足比率		
					病院事業	水道事業	下水道事業
伊賀市 (昨年度数値)	—	—	10.5 (11.4)	68.7 (77.2)	—	—	—
早期健全化基準	11.93	16.93	25.0	350.0	経営健全化基準 20.0		
財政再生基準	20.00	30.00	35.0				

※伊賀市の場合、「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「資金不足比率」は、黒字のため『—(該当なし)』となります。

## ■病院事業

### ■事業概要

令和2年度は、全身用エックス線CT装置や中央材料室滅菌器を更新、移動型エックス線撮影装置や電子内視鏡システムなどの医療機器を購入し、診療機能の充実に努めたほか、高圧受変電設備等改修工事や無停電電源装置取替工事などを実施しました。経営状況は、第2次市民病院改革プランに基づく経営の効率化などに取り組み、令和2年度も利益を生じることができました。今後も医療サービスの向上と、良質な医療の提供、福祉の増進に努めるとともに、運営の効率化を図りながら、経営改善を更に進め、市民の負担に配慮することができる病院をめざします。

### ■利用状況

(単位：人)

	令和2年度	1日平均(※)
外来患者数	60,191	248
入院患者数	62,514	171

※外来患者1日平均人数は、外来患者数を年間診療日数の243日で割っています。

■市債残高 18億5,370万円

### ■病院事業の決算(消費税・地方消費税を含む)

収益的収支	予算額	決算額	繰越額	差引	
事業収益	48億4,829万円	46億9,886万円	—	増減額	▲1億4,943万円
事業費用	47億2,536万円	44億7,386万円	380万円	不用額	2億4,770万円
資本的収支	予算額	決算額	繰越額	差引	
資本的収入	5億1,555万円	4億9,438万円	—	増減額	▲2,117万円
資本的支出	5億7,990万円	5億6,860万円	—	不用額	1,130万円

【問い合わせ】 上野総合市民病院病院総務課 ☎24-1111 FAX 24-1565

■事業概要

令和2年度は、桐ヶ丘地内などで重要給水施設配水管事業を実施し、守田町、千戸、西明寺、石川地内などでは配水管更新事業に取り組みました。また、中央監視システム統合工事により効率的な施設運用を図る一方、上野南送水ポンプ所ポンプ更新工事などにより設備機器の更新を実施し、安定して水道水を供給できる環境を整備しました。

今後安全・安心で良質な水道水を安定的かつ持続的に供給できるように努めます。

■令和2年度末の給水状況

	令和2年度	令和元年度からの増減
現在給水戸数(戸)	40,495	52
現在給水人口(人)	88,792	▲1,301
年間総配水量 A (m <sup>3</sup> )	13,945,603	51,672
年間総有収水量 B (m <sup>3</sup> )	11,557,514	99,240
有収率 B/A (%)	82.9	0.4

■市債残高 119億7,576万円

■水道事業の決算(消費税・地方消費税を含む)

収益的収支	予算額	決算額	繰越額	差引	
事業収益	34億3,449万円	34億4,715万円	—	増減額	1,266万円
事業費用	32億5,434万円	31億4,992万円	378万円	不用額	1億64万円

資本的収支	予算額	決算額	繰越額	差引	
資本的収入	5億9,938万円	5億8,471万円	—	増減額	▲1,467万円
資本的支出	21億1,078万円	19億2,880万円	4,444万円	不用額	1億3,754万円

【問い合わせ】 上下水道部経営企画課 ☎24-0001 FAX 24-0006

■事業概要

公共下水道事業では、長寿命化計画に基づく令和元・2年度の事業として、上野新都市浄化センター汚泥濃縮槽防食工事に取り組みました。特定環境保全公共下水道事業では、同じく長寿命化計画に基づく令和元・2年度の事業として、柘植浄化センター電気設備工事・島ヶ原浄化センター通報装置更新工事に取り組みとともに、柘植処理区・島ヶ原処理区中継ポンプ場ポンプ更新工事などにより機器の更新を行いました。農業集落排水事業では、平成27年度から取り組んでいた山田南地区の処理場・管路施設整備が完了し、供用を開始しました。

また、上三ヶ区地区・中矢地区農業集落排水施設の通報装置更新工事に取り組みました。

■令和2年度末の業務量

	令和2年度	令和元年度からの増減
行政区域内人口 A (人)	89,262	▲1,310
処理区域内人口 B (人)	34,444	▲195
処理区域内水洗化人口 C (人)	29,215	▲15
普及率 B/A (%)	38.6	0.4
水洗化率 C/B (%)	84.8	0.4
年間有収水量 (m <sup>3</sup> )*	3,865,537	39,261

\*使用料徴収の対象となった汚水量

今後下水道普及率の向上、公共用水域の水質保全に努めます。

■市債残高 139億7,436万円

■下水道事業の決算(消費税・地方消費税を含む)

収益的収支	予算額	決算額	繰越額	差引	
事業収益	26億3,984万円	26億5,025万円	—	増減額	1,041万円
事業費用	24億8,684万円	22億7,052万円	—	不用額	2億1,632万円

資本的収支	予算額	決算額	繰越額	差引	
資本的収入	9億3,905万円	8億7,735万円	—	増減額	▲6,170万円
資本的支出	18億5,801万円	16億2,117万円	1,538万円	不用額	2億2,146万円

【問い合わせ】 上下水道部経営企画課 ☎24-0001 FAX 24-0006

## ■一般会計の執行状況

### 【歳入】

区分	予算現額	収入済額	収入率
市税	136億 100万円	83億8,047万円	61.6%
分担金及び負担金	4億1,104万円	7,424万円	18.1%
使用料及び手数料	5億 235万円	2億6,708万円	53.2%
繰入金	16億2,530万円	0万円	0.0%
繰越金	11億 206万円	11億 206万円	100.0%
諸収入	7億1,799万円	1億5,920万円	22.2%
財産収入	9,161万円	1,709万円	18.7%
寄附金	4億1,007万円	1億3,051万円	31.8%
地方譲与税	6億1,474万円	1億9,351万円	31.5%
地方消費税交付金	22億1,661万円	12億1,441万円	54.8%
地方交付税	95億5,279万円	63億8,841万円	66.9%
国庫支出金	64億 415万円	23億 912万円	36.1%
県支出金	37億5,284万円	3億8,276万円	10.2%
市債	42億8,916万円	0万円	0.0%
その他の交付金	6億8,482万円	3億5,466万円	51.8%
合計	459億7,653万円	209億7,352万円	45.6%

### 【歳出】

区分	予算現額	支出済額	執行率
議会費	2億8,052万円	1億4,482万円	51.6%
総務費	77億3,832万円	20億8,338万円	26.9%
民生費	147億8,745万円	51億1,010万円	34.6%
衛生費	49億4,418万円	19億9,429万円	40.3%
労働費	1億 688万円	4,922万円	46.1%
農林業費	25億7,857万円	8億3,326万円	32.3%
商工費	10億3,362万円	4億2,551万円	41.2%
土木費	28億 810万円	8億9,745万円	32.0%
消防費	17億2,713万円	7億7,122万円	44.7%
教育費	39億5,335万円	17億3,048万円	43.8%
災害復旧費	3億2,625万円	6,624万円	20.3%
公債費	56億4,554万円	28億 688万円	49.7%
予備費	3,000万円	0万円	0.0%
合計	459億5,991万円	169億1,285万円	36.8%

## ■特別会計の執行状況

会計名		予算現額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
特別会計	国民健康保険事業	93億9,150万円	34億1,735万円	36.4%	36億 498万円	38.4%
	住宅新築資金等貸付	5,338万円	992万円	18.6%	5,076万円	95.1%
	駐車場事業	4,629万円	1,299万円	28.1%	1,465万円	31.6%
	介護保険事業	105億2,921万円	47億8,016万円	45.4%	42億3,914万円	40.3%
	サービスエリア	817万円	369万円	45.2%	174万円	21.3%
	後期高齢者医療	12億8,376万円	4億2,476万円	33.1%	4億6,984万円	36.6%
財産区	島ヶ原財産区	2,980万円	1,689万円	56.7%	423万円	14.2%
	大山田財産区	1,257万円	1,376万円	109.4%	20万円	1.6%
合計		213億5,468万円	86億7,952万円	40.6%	83億8,554万円	39.3%

# 令和3年度上半期 伊賀市の予算執行状況

(9月30日現在)

市の財政状況を皆さんに知っていただくため、令和3年度上半期の伊賀市の予算執行状況を報告します。

令和3年度上半期(4~9月)の予算執行状況(9月30日現在)は次のとおりです。

※表示単位未満を四捨五入していますので、予算書の金額(千円単位)と一致しない場合があります。



### 【問い合わせ】

財政課

☎ 22-9608 FAX 24-2440

✉ zaisei@city.iga.lg.jp

## ■市税の状況

区分	予算現額	収入済額	収入率
市民税	48億4,766万円	25億 499万円	51.7%
固定資産税	77億2,947万円	52億4,184万円	67.8%
都市計画税	0万円	1万円	100.0%
特別土地保有税	0万円	0万円	0.0%
軽自動車税	3億5,236万円	3億3,761万円	95.8%
市たばこ税	6億3,166万円	2億7,817万円	44.0%
鉱産税	5万円	1万円	20.0%
入湯税	3,980万円	1,784万円	44.8%
合計	136億 100万円	83億8,047万円	61.6%

## ■市債・企業債残高

会計名	現在高
一般会計	505億8,758万円
特別会計	563万円
公営企業会計	266億8,263万円
合計	772億7,584万円

## ■一時借入金はありません。